

なんもく・山村ぐらし通信

協議会の活動を振り返る

(前回の続き)

平成22年12月に南牧山村ぐらし支援協議会」は発足し、あと少しで10年目です。前回に続いてその歩みを振り返り、活動を紹介したいと思

移住相談会

都内で開催された群馬県主催の移住相談会に、通算34回参加しました。南牧村ブースでの相談件数は、確認が取れただけでも110組143名。1回につき3組。1件当たり

の相談時間は内容が多岐にわたることが多く1〜2時間が多いので、件数としては健闘していると思

きる機会の情報をそろえてお話しできるようにしました。これからはオンライン相談会にも対応していきたいと思

現地案内

相談会の来場者は、興味の度合いによって大きく二種類に分かれます。大雑把にしか移住を考えていない

交流会

平成25年度より、移住者との交流会を年に1回、開催してきました。毎回30人ほどが集まります。これまで7回開催しましたが、各

問い合わせ

協議会ホームページを開設した頃から昨年度まで、問い合わせも様変わりしました。昨年度までの合計は

古民具及び古民家

様々な事情から、空き家を解体する方も見られるようになりました。解体前にお願



協議会を立ち上げた頃に参加した移住相談会の様子

まだ具体化できませんが、古民家のリノベーションなども計画中です。

ご挨拶が遅れましたが、新年明けましておめでとうございます。昨年は会員並びに村民の皆様、村当局、県の関連部署にはお世話になり、ありがとうございます。

2021(令和3)年2月発行 通巻第35号版(冬季号)

発行責任者・発行元：南牧山村ぐらし支援協議会
問合せ：南牧村役場 村づくり・雇用推進課 協議会事務局
電話：0274-87-2011(代)
紙面編集：松林・高柳



協議会QRコード

協議会HP <https://nanmoku.org/>
活動内容や各種情報を随時更新中!

【R2年度10〜12月 空き家問合せ件数】

電話：13件
(10月 4件)
(11月 4件)
(12月 5件)

メール・手紙等：26件
(10月 14件)
(11月 9件)
(12月 3件)

現地物件見学：11件
(10月 2件)
(11月 5件)
(12月 4件)

【協議会ウェブサイト 訪問・閲覧状況報告】

10/23-1/22 (約90日)

ページ閲覧数 123,393
サイト訪問数 5,847
サイト訪問者数 3,859
平均ページ閲覧数 1訪問当り21ページ

タイムマシンなんもく号

昭和初期の馬場(競馬場)

今は昔、昭和一桁代の頃と思われる馬場(競馬場)の写真です。小沢地区の杉の茂った山の中にありましたが、今は形跡もなく、往時を知る人もない光景です。こうした平らで広い土地はこの村では大変貴重ですが、それを馬場という賭け事をする場所に使っていたことも驚きです。この馬場

しくも楽しい時代だったように思います。現代からは遠いですが、連続と続く歴史の延長線上にその時代があり、先人が踏んだ大地に私が立っていると、感慨深いものがあります。何十年、何百年前に作られて今も村内の至る所にある石垣や庚申塔からも、それを実感できます。

日本中で人口減少が続いています。南牧村の人口も令和2年12月で1717人となりました。人口が減少すれば生産力や活力が落ちるのは否めませんが、人口も経済も右肩上がりの時代とは違う生き方や楽しみを見出し、いければと思います。〜松浦歩寄稿

馬は現在では馴染みのない動物ですが、ご年配の方の話では、薪など重たい荷物の運搬に使っていたそうです。馬がいれば蹄鉄屋があり、鍛冶職人がカンカンと鉄を叩くリズムが聞こえていた。馬以外にも牛や山羊などがいて、家畜の臭いと鳴き声が生活の中にあつたことが想像されます。

当時の馬場は専用の競走馬ではなく、自分が飼っている馬を訓練して走らせていたそうです。娯楽に限られた時代の細やかな娯楽という見方もありますが、大勢の人が賑やかな生活音とともに暮らしていて、八木節があり、神楽があり、地区の祭りがあつたと、忙



周回コースがあつた馬場。旗が幾つも立ち、大勢が集まり賑やかだった。

